



第2740地区 創立/1990年9月29日 認証/1990年10月22日

佐世保中央ロータリークラブ週報

会長：池永 隆司 / 副会長：八重野 一洋 / 幹事：宮崎 正典

2020～2021年度クラブスローガン

『和衷協同』
地域のために。そして未来のために。

週報編集 / 公共イメージ・会報委員会：吉野英樹、山口裕之、福田英彦、鶴田明敏
西村浩輝、古川直記、岡田文俊、崎山信幸

本日の出席率79.16%：会員数49名・出席28名・欠席10名・出席規定免除会員10名・ビジター1名
前々回の出席36名・出席規定免除会員7名



会長挨拶 / 池永 隆司君



皆さんこんにちは。先週から朝晩はめっきり寒くなってきましたが、コロナ禍なので、体調管理は充分に注意して頂きたいと思います。寒いといえ、明日から奉仕プロジェクトの交流事業として、旭川空港ロータリークラブに行ってきます。今年の1月

と違ってそこまで寒くはないと思いますが、今回は会員10名、会員の奥様3名で行ってまいります。担当の岡委員長、旅先でのコロナ対策担当の馬渡委員長よりしくをお願いします。

そして先週の金曜日は、新入会員セミナーが開催されました。2017年以来3年ぶりの開催でした。該当者は8人参加されましたが、新入会員の方はもちろん、理事をされ活発に活動されている方も参加されました。当クラブの歴史と周年事業・財団と米山そして基金会について・創立20周年をどのように活動され、周年事業のご苦労と、裏話などをパスト会長にお話し頂きました。これからの長いロータリーライフの糧にして頂ければと思います。企画と運営をして頂きました、クラブビジョン委員会の本田委員長を初め委員会の皆様、講演をして頂きました、橋口パスト会長、牛島パスト会長、田雑パスト会長には改めてお礼申し上げます。

話は変わりますが、今月10月は米山月間になっておりますので、米山記念奨学会についてお話ししたいと思います。ロータリー米山記念奨学会は、日本の全ロータリアンが参加し推進している事業で、将来母国と日本の懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的とし支援しています。年間に860人、これまでに支援した奨学生は2019年7月現在累計で21,023人になり、出身国は世界129の国と地域です。事業費は年間14億4千万円で、外国人留学生を対象とした民間の奨学金では国内最大規模です。米山記念奨学会は、1952年、日本のロータ

リーの創設者ともいえる米山梅吉氏が、生前 平和を愛し、青年たちに援助の手を差し伸べていたことから、東京ロータリークラブのプログラム「米山基金」として始まりました。アジア諸国から招致しようとする計画で、1953年に募金計画が決定し、目標を260万円において始められ、1954年にタイから奨学生となるソム・チャート氏を含め3名の奨学生に、奨学金を支給し初期の目的を達成しました。その後ロータリーの国際奉仕として最もふさわしい企画として、1957年に全国規模のロータリー米山奨学会が組織されました。現在の組織になったのは、2006年に「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会」となっております。奨学会の特色として、経済的な支援だけでなく、ロータリークラブ独自の世話クラブとカウンセラー制度があり、奨学生は世話クラブの例会に月に一度出席し、ロータリー会員と交流し、国際交流・相互理解を深めるとともに、ロータリーの奉仕の心を学びます。過去には当クラブから奨学生のカウンセラーとして、牛島パスト会長、福田パスト会長、岩政パスト会長、井上パスト会長、大久保パスト会長がされております。



本日のビジター紹介

佐世保南ロータリークラブ 藤永 辰弘 様



幹事報告 / 宮崎 正典君

1. 例会変更・休会

* 佐世保ロータリークラブ

日時 10月28日(水) 18:30～
レオプラザホテル佐世保

※70周年タイム夜例会のため

日時 11月11日(水) 18:30～
レオプラザホテル佐世保

※新会員歓迎懇親会のため

* 佐世保西ロータリークラブ

休会 11月3日(火)

* ハウステンボス佐世保ロータリークラブ

休会 11月3日(火)

日時 11月10日(火) 12:30~

ホテルヨーロッパ「吉翠亭」

日時 11月24日(火) 18:30~

ホテルヨーロッパ レンブラントサロン

※夜例会のため

2. 来信

■ ガバナー事務所

・ 2700地区奉仕プロジェクトセミナー

日時 10月24日(土) 10:00~12:30

会場 福岡ファッションビル

■ 佐世保ロータリークラブ

・ コロナ禍による例会等のお尋ね

ロータリー情報

クラブビジョン 本田 実 委員長

ポリオに関する最近の歴史&根絶活動の主な進展

・ 1894年: アメリカ史の記録に残る初のポリオが大流行し18人が死亡、132人のまひ症状が報告された

・ 1905年: スウェーデンの内科医が、ポリオは人から人に感染する病気で症状のない人もポリオにかかっている可能性があることを指摘

・ 1908年: ウィーンの2人の医師が、ポリオが、ウイルス感染による病気であることを発表

・ 1916年: ニューヨークで、ポリオの大流行が発生し、2000人以上が死亡、アメリカ全土で約6000人が命を落とし、数千人がまひ障害になった

・ 1929年: フィリップ・トリンカーと ルイスA. ショーが、ポリオによるまひで呼吸不全となった患者のために(鉄の肺)と呼ばれる人工呼吸器を発明した

・ 1960年: アルバート・セービン博士が開発した経口ポリオワクチンがアメリカ政府から認可された

・ 1979年: フィリピンの600万人の子供のためにポリオワクチンを購入・輸送するプロジェクトがロータリークラブにより開始される

・ 1985年: 国際ロータリーが民間による国際的な公的保健イニシアチブとしては、史上初かつ最大規模となる「ポリオプラス」を開始。当初の募金目標は1億2000万ドル

・ 1988年: 国際ロータリーとWHO(世界保健機構)が「世界ポリオ撲滅推進活動」(GPEI)を立ち上げる当時の症例数は125ヶ国で推定35万件以上

・ 1994年: ポリオ撲滅認定のための世界委員会が、南北アメリカ大陸からポリオが撲滅されたことを発表

・ 1995年: 中国とインドで保険従事者とボランティアにより わずか1週間で1億6500万人の子どもにワクチンが投与され。ポリオのない国のロータリー会員が世界のポリオ撲滅活動を支援するため、ロータリー

ーが「ポリオプラス・パートナー」プログラムを立ち上げる

・ 2000年: 5億5000万人という記録的な数の子供に経口ポリオワクチンが投与される

オーストラリアから中国にわたる西太平洋地域でのポリオ撲滅が宣言された

・ 2003年: 12か月間のキャンペーンでロータリー財団が1億1900万ドルの募金に成功

ポリオ撲滅へのロータリーからの寄付総額が5億ドルを超えた。常在国の数は6ヶ国となる(アフガニスタン、エジプト、インド、ニジェール、ナイジェリア、パキスタン)

・ 2004年: アフリカの23ヶ国で8000万人の子供を対象に一斉に予防接種日を実施され アフリカ大陸で最大規模の一斉ポリオ予防接種活動となった

・ 2006年: ポリオ常在国が4ヶ国に(アフガニスタン、インド、ナイジェリア、パキスタン)

・ 2009年: ポリオ撲滅に対するロータリーからの寄付総額が約8億ドルに。1月、ビル&メリンダ・ゲイツ財団が、ロータリーからポリオ撲滅に2億ドルを寄付することを条件にロータリーに3億5500万ドルの補助金を提供することを発表し、その結果世界ポリオ撲滅推進活動に合計5億5500万ドルが寄付される

・ 2011年: ロータリーがポリオ撲滅の新しい啓発キャンペーン「あと少し」を立ち上げ、各界の著名人がこれに参加、ポリオ撲滅へのロータリーの寄付総額が10億ドルを超えた

・ 2012年: インドで丸1年にわたりポリオ症例が確認されなかったことを受け、同国がポリオ常在国リストから除外され。これにより、常在国が3ヶ国に。ロータリーが予定より5か月以上早く「2億ドルのチャレンジ」の募金目標を達成

・ 2014年: インドで3年間、野生型ポリオウイルスによる新規症例が確認されなかったためWHO(世界保健機関)が東南アジア地域のポリオ撲滅を認定。ポリオの症例は1988年以来、99%減少



ニコニコボックス

佐世保南 RC 曾和 英徳様

本日は卓話でお世話になります。どうぞよろしくお願い致します。

池永 隆司会長・八重野 一洋副会長・宮崎 正典幹事

世界中の人々の往来が止まって約半年。街中からも外国人の観光客がめっきり減ってしまいました。しかし、ようやく往来再開に向かって進んできているようです。だいた昔の話ですが、当クラブの川上仁哉君が、高知県で行われた、アジアの若者が集まる会議に参加した際、東南アジア系の若者から、彼の母国語で話しかけられてとても困惑していました。会話の内容は全く分かりませんが、外国人と同じ国の人だと思われていたようです。本日はカンボジアに詳しい曾和さんをお迎えして海外に思いをはせた

と思います。どうぞ宜しくお願い致します。

田雑 豪裕君

昨日、PCR検査を受け結果は陰性反応という事です。念の為と思い検査しました。

岡田 文俊君

国勢調査を島瀬町で100件分行い終了しました。個人情報の壁にブチ当たり大変良い勉強になりました。皆様のご協力に感謝します。

JCOB一同より

曾和君の講演をOB一同、歓迎、応援したいと思います。

本日の合計	28,000 円
本年度の累計	354,000 円



本日の卓話

◆ゲスト卓話◆

佐世保夢スクール2008

理事長 曾和 英徳 様
(佐世保南RC)



ポル・ポト政権によって多くの国民が犠牲となったカンボジア。その爪痕が今もなお大きく残っています。政治においては日本・欧米諸国からの支援も虚しく、近年中国をバックにつけ一党独裁体制となり、国民は言いたい事も言えない生活を強いられているのが今のカンボジアの現状です。私は以前に訪問したある孤児院の少年の言葉に胸を打たれ、いろいろな縁で2008年に佐世保青年会議所の55周年記念事業としてCMC コーントライ夢中学校をカンボジアの農村部に建設しました。以来、卒業式や修学旅行など出来る限りのことを毎年、継続性を持って実施しています。しかしながら日常の現地での活動においては、建設時にお世話になった、カンボジア地雷撤去キャンペーン(以下CMC)に頼り切っているのが実情です。来年度からは入学してくる生徒数が倍増する事になっており、教室の増築を行わなければならない、また既存の校舎の補修なども検討して行かなくてはなりません。今後もCMCと協力しながら、できるだけ長く支援活動を継続できるよう努力していきたいと考えています。

SAA : 田代 博之君

次回例会/10月29日12:30~

